

第三者評価結果 公表シート

(このシートに書かれている内容は、そのまま富山県福祉情報システムにおいて公表されます。)

事業所名	富山市立浜黒崎保育所
第三者評価機関名	社会福祉法人富山県社会福祉協議会
評価実施期間	平成30年5月18日(契約日)～ 平成31年1月4日(評価結果確定日)
過去受審回数 (前回の受審時期)	一回(平成 年度)

1. 概評

◇ 特に評価の高い点

・温かい居場所と関係性の中での保育生活

保護者は保育所・職員の家庭的で温かい対応に信頼が強いことが利用者アンケートに表れている。また、木造で光や風が通り、温もりのある園舎環境の中で子どもたちは、のびのびと元気に明るく保育所生活を送っている。子どもたちの様子から、一人ひとりが大切に保育されていることが窺われる。

・地域住民の特技を生かしたボランティア活動

歴史ある地域ボランティア(詩吟・花遊び・お茶・野菜作り)に支えられ、子どもたちは家庭ではなかなか出来ない体験を行う機会に恵まれている。こうした活動は、子どもたちの情操的教育に大きく貢献し、活動の成果は地域の中や、保護者の前で披露するなど積極的に取り組まれている。

◇ 改善を求められる点

・単年度事業計画の作成と関係者への周知努力

策定されている「浜黒崎保育所中長期計画」を実践するにあたり、単年度の事業計画作成が望まれる。当該年度における具体的な事業内容が明文化され、実践にむけて職員や保護者、地域住民、関係する社会資源やボランティアなどの関係機関へ説明し理解を得て、協働することで保育事業に対する関心と信頼、そして満足度がより高まることに期待したい。

・ボランティアに関する方針やマニュアルの整備と体制の構築

ボランティアを受け入れることは、子どもたちが様々な感性に触れることができ、地域社会と保育所をつなぐ重要な活動になる。しかし、ボランティアなどは福祉の専門職ではないため、保育所の特性に即してボランティアに対してのトラブルや事故を防ぐための事前説明の仕組みや、登録手続き、子ども・保護者等への事前説明、活動記録の方法などをマニユア

ル化し、それらに照らし合わせて支援していくことで、多様な活動がさらに豊かで安全に展開されることに期待したい。

・非常災害時のマニュアル作成と具体的な避難方法の早急な習得

立地条件が海岸に近い場合、非常災害時のリスクが大きい。様々な災害の種類や時間的な被害を分析・検討し、実行性の高い取り組みが早急に求められる。行政・消防・警察・地域組織からの助言や指導に基づいて、マニュアルの整備とそれらの実践訓練には職員のみならず、保護者・関係者も巻き込んで繰り返し実施されることが強く望まれる。

3. 各評価項目にかかる第三者評価結果(別紙)

4. 第三者評価結果に対する事業者のコメント

第三者評価を受けるにあたり、職員一人一人が自己評価をすることで自分の保育を振り返り、より良い保育のための課題を見出し職員間で話し合いを重ねてきました。チェックリストを用いて各自が評価した内容をもとに、職場会議や年齢別ミーティングで討議を行ったことが互いの学びとなり、保育所全体で質の向上につながるよう努力しました。

今回ご指導いただいた事柄については、保護者からの意見や要望に積極的に耳を傾け、子どもの育ちや保護者のニーズに真摯に向き合い、地域の方々との連携を深めながら子どもの最善の利益のために日々研鑽に努めていきたいと思っております。

最後に今回の受審にあたり、ご尽力いただいた評価機関の皆様、利用者アンケートにご協力いただいた保護者の皆様に感謝申し上げます。

第三者評価結果

※すべての評価細目（65項目）について、判断基準（a・b・cの3段階）に基づいた評価結果を表示する。

※評価細目毎に第三者評価機関の判定理由等のコメントを記述する。

評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

		第三者評価結果
I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
1	I-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a・ b ・c
<p><コメント></p> <p>富山市基本理念に基づき、保育所理念が掲げられている。年度初め職員異動に合わせて見直されている。保育目標と方針について再検討し、職員会議を通して全職員へ周知し実践すると共に、玄関への掲示及び重要事項説明書へ記載し、保護者に対しては、総会時に説明と周知を図っている。これらの考えや姿勢は、地域住民や地域の社会資源へ周知することで保育活動に対する信頼を高めることにつながるため、広く理解や周知を図ることが望まれる。</p>		

I-2 経営状況の把握

		第三者評価結果
I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
2	I-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a・ b ・c
<p><コメント></p> <p>富山市では、「質の高い幼児期の教育・保育の総合的な提供」と「地域の子ども・子育て支援の充実」のための方向づけと方策を提示するため、子ども・子育て支援法に基づき「富山市子ども・子育て支援事業計画」を策定し、その中に分析及び取り組み・方策が示されている。</p>		
3	I-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	a・ b ・c
<p><コメント></p> <p>公営のため設置主体である富山市において、基準を満たした人員配置と入所者などの決定が行われている。毎年、保育所要覧の調査協力を行い、組織体制や利用及び待機児童状況、人材育成や財務状況などの動向を把握するよう努めている。</p>		

I-3 事業計画の策定

		第三者評価結果
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
4	I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>「富山市子ども・子育て支援事業計画」に基づいて、平成30年～33年に渡る『浜黒崎保育所中長期計画書』が策定されている。保育運営・人材育成・危機安全管理・地域拠点などの視点での具体的施策が記載されているが、検討が一部の職員に限られていることや、各項目に期限的な内容が示されていない点は十分とは言い難い。公営のため、収支や財務状況については保育所単位での策定はされていない。</p>		
5	I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>『浜黒崎保育所中長期計画書』に基づき、運営計画（行事計画）、人材育成（研修計画・会議計画）、危機安全管理（備品・設備点検、災害訓練）、地域拠点（ボランティア計画・子育て支援）など、分野毎に年間計画表として作成されているものの、年度方針や目標に準じて数値目標や具体的な成果、参画する者の意向などが盛り込まれた「単年度事業計画」の検討、その記録、策定が望まれる。</p>		
I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
6	I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>平成30年度事業計画書の策定及び策定に至る経過・検討記録などはない。事業計画の策定にあたっては職員及び保護者、地域住民代表や関係者などから社会の動向・組織の状況・子ども及び保護者や地域のニーズの集約それらの反映の仕組みが必要である。そして、実施された状況について、評価・分析→見直し→作成と手順に沿って取り組まれることが望まれる。</p>		
7	I-3-(2)-② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>上記、作成のサイクルが組織的に実施及び策定され、職員のみならず保護者や関係者、関係機関へ分かりやすく説明され周知されることで、事業への参加が促されることに期待したい。</p>		

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

		第三者評価結果
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
8	I-4-(1)-① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a・b・c

<p><コメント></p> <p>副所長が中心となり、保育士自らの実践を他職員が客観的に観察し、内容を振り返り、改善課題を導く機会を「自園研修」として設け実施されている。</p> <p>全職員に対して第三者評価の評価項目に沿って、自己評価が実施されている。</p>			
9	I-4-(1)-②	<p>評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。</p>	a・ b ・c
<p><コメント></p> <p>実施した自己評価票を各グループごとに分析し、保育に対する問題点を主査及び主任保育士が中心となり検討し、課題にまとめ改善に取り組んでいる。今後は取り組みを評価し、計画的に継続して行く予定がある。その際、検討にはより多くの職員が参画されることに期待したい。</p>			

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果	
Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。			
10	Ⅱ-1-(1)-①	<p>施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。</p>	a・ b ・c
<p><コメント></p> <p>所長の職務分掌などについては文章化され、不在時の権限委任についても副所長に一任し、緊急時など必ず連絡がとれるような体制にしている。年度初めの会議において、全職員に対し、理念や方針と併せて自らの役割と責任、運営にあたっての思いを表明し、理解と協力を求めている。</p>			
11	Ⅱ-1-(1)-②	<p>遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。</p>	a・ b ・c
<p><コメント></p> <p>所長会議などにおいて指導を受け、個人情報及び守秘義務などについては、会議や申し送りなどの機会に、全職員への徹底を図っている。また、USBメモリーや書類などの持ち出しは原則禁止し、必要な場合は持ち出しノートへ記載するなど情報流出防止に努めている。</p>			
Ⅱ-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。			
12	Ⅱ-1-(2)-①	<p>保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。</p>	a・ b ・c
<p><コメント></p> <p>所長は、所内の会議に参加し保育内容の現状を把握するよう努めている。また、所長会議などの内容は、必ず職場会議で伝達し保育実践に生かすよう心掛けている。職員や子ども、保護者にも自ら積極的に声掛けをするよう意識している。</p>			
13	Ⅱ-1-(2)-②	<p>経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。</p>	a・ b ・c

<p><コメント></p> <p>公営管理体制のため、経営状況や財務分析については保育所単位では行われていない。業務の実行性を高めるために、職員同士のコミュニケーションを大切に、効率よく働ける環境作りに配慮している。</p>
--

II-2 福祉人材の確保・育成

		第三者評価結果
II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
14	II-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a・ b ・c
<p><コメント></p> <p>富山市で推進している、「シニア保育サポーター」の登録呼びかけを、積極的に行っている。富山市へ取り組み状況や見通しを定期的に報告し、連携しながら適切な人員配置及び人員育成と定着に努めているが、保育所での採用活動は行われていない。保育助手には保育士資格取得を促し、そのための相談や指導を行い、取得に向けてのサポートを行っている。</p>		
15	II-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	a・ b ・c
<p><コメント></p> <p>富山市において、「人事異動調書・業績評価・勤務評定・自己申告書」などを定期的実施し、客観的、公平性、透明性を持った人事管理を組織的に行っている。また、主任→主査→副所長→所長というキャリアアップ昇格制度が設けられている。</p>		
II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
16	II-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる。	a・ b ・c
<p><コメント></p> <p>所長は、全職員と面談を行い精神的なストレスや仕事と生活の両立などについて、状況や要望を把握し、適切な環境が提供できるよう努めている。また、ノー残業 day「さわやかナイス day」を設け、定時に帰宅できるような取り組みも組織として奨励し実施している。</p>		
II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
17	II-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a・ b ・c
<p><コメント></p> <p>正規職員においては業績評価が年2回実施され、その都度面談も行い業務自己評価や目標達成度について評価・指導している。嘱託及び臨時職員においては、年度初めと年度末に面談を行い、目標や意識を確認し、相談も含め対応に努めている。</p>		
18	II-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a・ b ・c
<p><コメント></p> <p>年度初めに富山市から、経験年数や保育分野によって分類された研修内容が計画され、教</p>		

育及び研修の計画が示されている。しかし、研修計画の基本方針や具体的な目標などの明記に乏しく、今後はさらに資格などを含めた具体的な基本方針や目標、そして職員の意向を踏まえた教育・研修機会の提供及び外部研修の導入の検討に期待したい。		
19	Ⅱ-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a・ ③ ・c
<p><コメント></p> <p>職員の意向や経験を反映させながら受講者を決定し、研修へ参加している。参加後、報告書と資料を全職員で回覧している。必要な情報や知識は職場会議において報告されている。保育に関わるニーズが多様化している中で、職員は一定期間の就労年数での異動が行われる環境にある。職員毎の研修履歴などが管理され、成果の評価や分析を行い、それらにもとづいて全体のキャリア構成と連動していく研修体制の再構築に期待したい。</p>		
Ⅱ-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		
20	Ⅱ-2-(4)-① 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a・ ③ ・c
<p><コメント></p> <p>実習生受け入れマニュアル及び富山市の年間実習計画に沿って、副所長が窓口となり受け入れを行っている。養成校・14歳の挑戦など事前に打ち合せを行い、目的を明確にして実習に取り組めるよう支援している。これまで、窓口担当者もマニュアルと各実習生によるプログラムに基づいて受け入れを行ってきたが、富山市としては実習生に対する様々な対応が求められていく中で、実習担当者や指導者などに対する研修機会の提供を検討している。</p>		

Ⅱ-3 運営の透明性の確保

		第三者評価結果
Ⅱ-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
21	Ⅱ-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a・ ③ ・c
<p><コメント></p> <p>富山市ホームページに基本情報のほか、目標や方針が紹介されている。また、重要事項説明書には利用における重要な事項について説明があり利用者に配布されている。保育所玄関脇には運営規程が誰でも閲覧できるよう配置されている。財務状況については、富山市という公営であることから、富山市が手がける全事業については予算及び決算報告がなされているが、保育所単位での情報公表は現実的に行われていない。第三者評価は初めての受審であり、この結果を利用者及び地域の関係機関などへ公表していくことが望まれる。</p>		
22	Ⅱ-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a・ ③ ・c
<p><コメント></p> <p>庶務事務についてマニュアル化され、それらに基づき執務を実行している。予算は富山市担当課より配当された費用について、必要な消耗品や備品などを見積もり「支出命令書・支出負担行為決定書」を出納課へ提出している。予算執行状況などについては富山市が監</p>		

査を実施している。

II-4 地域との交流、地域貢献

		第三者評価結果
II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
23	II-4-(1)-① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	a・ b ・c
<p><コメント></p> <p>保育方針に「育児と仕事の両立支援及び地域の子育て支援を推進し、家庭との信頼関係を深めながら、地域に根ざした温かい保育所作りに取り組みます」と掲げ、近隣の小学校や高齢者施設との交流活動、校下サマーフェスティバルやお祭りへ参加しており、利用者アンケートからも「地域と一緒に保育している、地域とのつながりが多い」という特徴がみられる。今後とも既存内容に限らず、新たな交流機会の発信に期待したい。</p>		
24	II-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a・ b ・c
<p><コメント></p> <p>『シニア保育サポーター事業』を推進している。目的は、シニア保育サポーターと子どもたちが交流することで子どもたちが地域の方たちに親しみを抱き、その結果としていたわりや思いやりの心を育むこと。高齢者の皆さんにとって外出頻度を増やし社会活動を継続する機会である。8名のサポーター登録があり、活動が展開されている。また、上記以外にもボランティアの活動状況が記録されている。また、上記以外にも多数のボランティア活動が実践されているが、多岐にわたるボランティア活動への基本姿勢や活動中のトラブルなどへの対応についてのマニュアルは十分とは言えず、対応が望まれる。</p>		
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
25	II-4-(2)-① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a・ b ・c
<p><コメント></p> <p>保育活動及び地域との交流において、継続した社会資源の活用が行われている。その様子は写真付きの活動記録（閲覧用）からも知ることが出来る。保護者に対しても、総会時や園だよりなどを通してどの社会資源を、どう活用していくかを説明し理解に努めている。また、子育て支援や保育指導を受けるためニーズに合った専門機関と連携し、適切な保護者支援・保育実践に繋げるよう取り組んでいる。</p>		
II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
26	II-4-(3)-① 保育所が有する機能を地域に還元している。	a・ b ・c
<p><コメント></p> <p>年間30回親子サークルを開催し、未就園児や保護者などに保育活動と触れ合う場や、子育て相談の機会を提供している。『富山湾海岸をきれいにする会』の会合に所長が参加し、子どもたちとその標語作りに取り組み、地域まちづくりと海岸美化への関心を高めることに繋げている。しかし、保育所が有する、専門性のある知識や技術、情報を地域の</p>		

<p>人々へ有効的に発信及び活用する場面が少ない。そういった機能を活かし学びの機会を提供するなど、地域との関係性が深まり活性化されるよう期待したい。</p>		
27	<p>Ⅱ-4-(3)-② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。</p>	<p>a・㊦・c</p>
<p><コメント></p> <p>地域住民の特技（お茶・生け花・詩吟・野菜作り）などを保育活動に取り入れ、子どもたちの情操教育を図っている。また、シニア保育サポーターをする民生委員、児童委員との交流会を実施しているが、その内容が記録されておらず活用につながっていない。今後、地域福祉課題の把握・解決、住民の主体的な活動の促進に対し、公益性を有する組織として、福祉に関する専門性と機能を発揮され、地域福祉の向上の一助となることに期待したい。</p>		

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

		第三者評価結果
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
28	Ⅲ-1-(1)-① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	a・ b ・c
<p><コメント></p> <p>子どもを尊重した保育についての共通の理解はもっているが、外国籍の子どもや保護者に対しては、十分な理解がされていない。職員間、保護者間での共通理解が十分行き渡るよう工夫していただきたい。</p>		
29	Ⅲ-1-(1)-② 子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した保育が行われている。	a・ b ・c
<p><コメント></p> <p>マニュアルの整備、職員の共通認識は図られている。一般的な理解だけではなく、より専門性を持ったプライバシー保護等、権利擁護に配慮した質の高い保育及び具体的な取り組みと対応を願いたい。</p>		
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
30	Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	a・ b ・c
<p><コメント></p> <p>利用者の視点に立ちわかりやすい説明、理解しやすい資料の工夫を保育所独自で作成するなど積極的に取り組んでいただきたい。</p>		
31	Ⅲ-1-(2)-② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	a・ b ・c
<p><コメント></p> <p>入所時の説明だけでは、十分といえない。総会、懇談会など機会を捉え説明することが大切である。保育の開始・変更時には、保護者への説明経緯の記録が望まれる。</p>		
32	Ⅲ-1-(2)-③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	a・ b ・c
<p><コメント></p> <p>転所や就学においては、保育の継続性に配慮した対応はしているが、保護者に対しての相談方法や案内などの書類がなく、その対応が求められる。</p>		
Ⅲ-1-(3) 利用者満足の向上に努めている。		
33	Ⅲ-1-(3)-① 利用者満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	a・ b ・c
<p><コメント></p> <p>子どもたちのくっつくのびのびとした笑顔、のびのびとした保育所生活から十分に満足した様子が伺われる。保護者に対して、行事だけのアンケートをとるのではなく、保育所運営についてもアンケートや懇談会などで満足度を把握することが望ましい。</p>		

Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
34	Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a・ (b) ・c
<p><コメント></p> <p>苦情解決の仕組みは確立しているが、苦情や要望の有無を知らない保護者の意見も多く、保育の質の向上の面からも配慮した公表、結果報告が望ましい。</p>		
35	Ⅲ-1-(4)-② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	a・ (b) ・c
<p><コメント></p> <p>連絡ノートや口頭での相談や意見交換は十分に行われている。登所・降所時の相談は、他者への漏えいの観点からも、細心の注意を払うよう職員間への周知が必要である。</p>		
36	Ⅲ-1-(4)-③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a・ (b) ・c
<p><コメント></p> <p>相談や意見が保育の質の向上につながるものと認識し手順、対応方法、記録方法、説明、公表の方法等、対応マニュアルの定期的な見直しが必要である。</p>		
Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		
37	Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a・ (b) ・c
<p><コメント></p> <p>年間4回の不審者対応の訓練を危機感を持って実施しているが、社会資源の活用がなされていない。今後は地域の交番などの協力を得ることで知識、避難方法などより明確に理解することが可能である。積極的に地域との交流をはかり、マニュアルの見直しも必要である。</p>		
38	Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a・ (b) ・c
<p><コメント></p> <p>富山市からのマニュアル、情報は、完備し活用されているが、保育所の環境や特性に基づいたマニュアルの作成と定期的な見直しが必要である。また、感染症についての掲示が玄関壁面に設けてあるが、さらに見やすく伝わりやすい工夫（日付や感染者の有無等）を期待したい。</p>		
39	Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	a・ (b) ・c
<p><コメント></p> <p>地震、津波の災害時の避難場所は、県リハビリテーション病院であるが、遠く避難方法は職員の自家用車である。安全面においても適切ではなく、地域、富山市などと協議し安全迅速に避難する方法を早急に構築する必要がある。</p>		

Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

		第三者評価結果
Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		
40	Ⅲ-2-(1)-① 保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	a・ b ・c
<p><コメント></p> <p>標準的な実施方法が文書化されているが、保育所独自の特徴が見えてこない。画一的ではなく、独自の特色ある内容を盛り込んだ文章を作成し、実践に生かされたい。</p>		
41	Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a・ b ・c
<p><コメント></p> <p>誕生会のあり方を今年度から見直し、クラス単位で実施しており家庭的で子どもたちは、楽しみに自分の誕生日を待っている。行事だけではなく、保育全体を見直すなど職員間でPDCA サイクルで保育の質の向上を目指していただきたい。</p>		
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		
42	Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。	a・ b ・c
<p><コメント></p> <p>指導計画は、アセスメントに基づき作成しており、児童票には保護者の意向が記載されている。それらを集計及び分析し、把握した内容を指導計画に反映していくことが必要である。</p>		
43	Ⅲ-2-(2)-② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	a・ b ・c
<p><コメント></p> <p>指導計画の見直しは、昨年の反省や問題点を踏まえ作成されているが、課題を明確にし職員で共有し、保育の質の向上に向けての手順や方法が望まれる。</p>		
Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		
44	Ⅲ-2-(3)-① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a・ b ・c
<p><コメント></p> <p>子どもの記録は職員間でも共有されている。連絡ノートでの保護者とのやりとりのコピーを添付しているが、内容を的確に分類し決められた方法によって伝達される仕組みの構築が望まれる。</p>		
45	Ⅲ-2-(3)-② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	a ・b・c
<p><コメント></p> <p>記録の管理体制が確立している。規定も定められ、子どもの記録は職員室の保管庫に収められている。職員の研修、教育も充実し、責任者として所長の意識も高い。最重要書類等は所長自ら机で管理するなど対策がとられている。</p>		

A-1 保育内容

		第三者評価結果
A-1-(1) 保育課程の編成		
A①	A-1-(1)-① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて保育課程を編成している。	a・ ① ・c
<p><コメント></p> <p>新年度、正規職員で見直し編成している。玄関に貼り出し保護者や地域に対して周知しているが、保育室等にも掲示することで職員が再度確認し、保育内容に反映され総合的に展開されることを望みたい。</p>		
A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開		
A②	A-1-(2)-① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	a・ ② ・c
<p><コメント></p> <p>保育所内は清潔に保たれ、子どもが安全で心地よく過ごせるよう配慮されている。支援室等をさらに有効利用するため、地域の子どもが利用できる日や時間帯を玄関に貼り出して周知し、保育所の同年齢の子ども達と一緒に遊ぶなど、具体的な方法を検討されることを望みたい。</p>		
A③	A-1-(2)-② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	a・ ③ ・c
<p><コメント></p> <p>ケース会議は一人ひとりの子どもの現状について話し合い、全職員がよりよく子どもを理解しようと努めている。しかし、会議で検討した内容に基づく年間計画や個別支援計画がない。個別支援計画を作成し、それに基づき全職員が子どもの成長発達を支援できるような保育実践をされるよう期待したい。</p>		
A④	A-1-(2)-③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	a・ ④ ・c
<p><コメント></p> <p>子どもが生活するうえで必要な生活の仕方の手順や備品が整えられている。発達に応じて子どもが自分で選べる具体的な環境（当番用エプロン等）の設定が望まれる。</p>		
A⑤	A-1-(2)-④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	a・ ⑤ ・c
<p><コメント></p> <p>子どもが生活の流れを理解し遊びを楽しみ、自ら活動の区切りができる環境が準備され、職員が適切に関わっていた。また、園庭に草花を植え、子どもが主体的に活動できるような環境が準備されている。それらを定期的に管理し適切に活用してもらいたい。（草花の刈込や剪定など）</p>		
A⑥	A-1-(2)-⑤ 乳児保育（0歳児）において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a・ ⑥ ・c

<p><コメント></p> <p>0.1歳児が同一の保育室で過ごしている。途中入所が毎月ある中、子どもの成長や発達に応じ支援室を活用して月齢ごとに遊びや生活をする工夫を計画されている。</p>		
A⑦	<p>A-1-(2)-⑥ 3歳未満児（1・2歳児）の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。</p>	a・ ⑦ ・c
<p><コメント></p> <p>2歳児が単独で保育室で過ごしている。今後は平屋である利点を生かし3歳以上児との自由な交流を増やしていくような計画を早期に実行されたい。</p>		
A⑧	<p>A-1-(2)-⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。</p>	a・ ⑧ ・c
<p><コメント></p> <p>縦割りでの生活・年齢ごとの活動とカリキュラムが立てられ、月の途中で見直し、次月への保育計画に反映させている。5歳児については集中して活動できる環境（保育室）と人員配置が工夫されている。</p>		
A⑨	<p>A-1-(2)-⑧ 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。</p>	a・ ⑨ ・c
<p><コメント></p> <p>障がい児の受け入れに当たっては担当保育士が配置されている。配慮が必要な子については専門機関の巡回指導を受けているが、それをふまえての個別支援計画作成と保育の実施を期待したい。</p>		
A⑩	<p>A-1-(2)-⑨ 長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。</p>	a・ ⑩ ・c
<p><コメント></p> <p>担任と保護者との連絡に配慮し記入・伝達・保存されている。安心して過ごせるよう長時間保育担当者の勤務の組合わせに配慮している。</p>		
A⑪	<p>A-1-(2)-⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。</p>	a・ ⑪ ・c
<p><コメント></p> <p>新保育所保育指針に照らし合わせ“幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿”について職員が理解を深めながら保育している。スムーズに就学を迎えられるよう家庭との連絡や小学校との交流を積極的に行っている。</p>		
<p>A-1-(3) 健康管理</p>		
A⑫	<p>A-1-(3)-① 子どもの健康管理を適切に行っている。</p>	a・ ⑫ ・c
<p><コメント></p> <p>アレルギーやけいれんなど、子どもの健康に関する診断書等は個別の児童票に綴じて管理されており全職員が把握し対処できるようになっている。さらに、集団の中での子どもの健康</p>		

と安全について、保護者との連携を密にし、保育所における健康・安全に関する方針や取り組み（けがや発熱時の連絡を含む）について周知し、必要な情報提供をされるよう期待したい。		
A⑬	A-1-(3)-② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	a・ b ・c
<p><コメント></p> <p>富山市の指導に基づき管理実行されている。健診の結果をふまえ、さらなる健康作りのため、健診結果に基づき嘱託医と連携を図り、情報を保護者に発信（ミニ講演会や掲示物）したり、保育の中で子ども達に自分の体や健康に関心を持つような保育を取り入れたりするなどの工夫が望まれる。</p>		
A⑭	A-1-(3)-③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	a・ b ・c
<p><コメント></p> <p>アレルギー疾患児の食事については保護者との連絡、調理、皿の色分け、検食、ひき渡しが正規職員の責任のもと行われているが、記録が無い。どの職員がどの時点で異常なしと確認をしたか（調理から子どもが食べ終え身体に異常がないことを確認するまで）の記録を取り保管するなどの実施が早急に望まれる。</p>		
A-1-(4) 食事		
A⑮	A-1-(4)-① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	a・ b ・c
<p><コメント></p> <p>野菜を星型やハート型にし、食材に関心が持てるよう調理員が工夫している。また、調理員と一緒に食事をしながら子どもたちの様子を見て食に関しての話をしている。栄養群の掲示を年長児が楽しみながら担当している。夏場もラップをするなどの工夫をして給食のサンプル展示を行っている。ケースの施設を検討されている。</p>		
A⑯	A-1-(4)-② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	a・ b ・c
<p><コメント></p> <p>富山市の調理衛生マニュアルを遵守し、給食を提供している。配膳車を利用して下膳も行っているが調理室のスペースの問題で下膳の配膳車が調理室内へ入っている。そのため消毒等の衛生管理の徹底を図っている。配膳車の使用についての保育所独自のマニュアル作成と衛生管理の徹底が望まれる。</p>		

A-2 子育て支援

		第三者評価結果
A-2-(1) 家庭との緊密な連携		
A⑰	A-2-(1)-① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	a・ b ・c
<p><コメント></p> <p>個別に保護者と懇談する際の空間の工夫をプライバシーに配慮している。相談内容によ</p>		

り、保護者が場所を選ぶなどの工夫が望ましい。連絡帳記入の場所と時間帯をどうするかは検討していただきたい。		
A-2-(2) 保護者等の支援		
A⑱	A-2-(2)-① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>日々のコミュニケーションにより信頼関係を築き、個人情報に配慮した懇談等を随時工夫し行っているが、意見や苦情についての記録が保管されていない。記録を取り、全職員がそれについて検討する中から保育の課題に気づき、より良い保育がなされると思われる。意見や苦情については振り返りを行い、保育の質の向上を図り、保護者を支援する体制づくりを期待したい。</p>		
A⑲	A-2-(2)-② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>専門機関との連携体制は構築されている。地域の民生委員児童委員との連絡を密に行い、地域の情報を把握するよう心がけている。</p>		

A-3 保育の質の向上

		第三者評価結果
A-3-(1) 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）		
A⑳	A-3-(1)-① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>全職員が保育の自己評価を行っているが、まだ分析・集計は行われていない。保育の課題を確認し、組織的・継続的に保育の質の向上に向け取り組んでいただきたい。</p>		